



## 送迎実態の把握のための調査

福祉有償運送の実施に係る実地調査が行われた  
十月二十日（金）午前九時三十分から「福祉有償運送の実地調査」が八幡事業所で行われました。北九州市の福祉有償運送の担当する課で保健福祉局地域支援部地域福祉推進課より野田久敏地域福祉推進係長と草垣美紀主任が来所されました。

### 送迎時の事故や苦情などの対応確認

この実地調査は、毎年この時期に行われており、福祉有償運送の送迎の実態を把握するための調査です。

昨年は小倉事業所で行われましたので、今年は八幡事業所で行われました。

調査内容は、毎年同じことなのですが、「活動報告書及び車両点検表」の確認や、運転ボランティアさんに対する点呼の方法、送迎時の事故や苦情などの対応の確認、送迎時の車にステッカーが



貼っているかを確認していただきました。

次に、運転者名簿や利用者名簿や利用者に対しては、利用者登録申請書や利用料金確認証など必要な書類が揃っているのかを確認されていました。

### 個人情報保護に関する書類等管理について

また、個人情報保護に関する書類等の管理について、質問がありました。施設付のロッカーにて保管していることも確認していただきました。

「さわやか」からのお願として、利用者の方で同じ透析病院に通院されている方もお休みします

る方で、同じ北九州市の同じ区で同じ町内に住んでいる方を複数乗車（相乗り）出来ないかと相談したところ、十一月に運営協議会

が開催されるので、書類を揃えて提出していただきと返事をいただきました。実地調査は午前十時に終了しました。

## 平成二十九年北九州市社会福祉大会 市民ふれあいフェスティバル

同日開催  
民生委員制度創設一〇〇周年を迎えて  
がんばろう九州！あなたとわたしのやさしい絆

十月二十二日（日）ウエルとばた大ホールで（社福）北九州市社会福祉協議会主催の平成二十九年北九州市社会福祉大会「みんなで進めよう！『ここに住みたい』まちづくり！民生委員制度創設一〇〇周年を迎えて」というテーマで行われました。十時から記念式典がありました。

午前中のプログラムの最後に聖幻会による日本舞踊が披露されました。聖幻会は、北九州市内の作業所や工芸舎等に通っている知的障害児・者の踊りのグループで、障害の有無を問わず心のバリアフリーを目指して英聖幻先生の指導のもと、西部障害者福祉会館で練習に励んでいます。また同日にウエルとばたで市民ふれあいフェスティバルががんばろう九州！あなたとわたしのやさしい絆

が開催されました。

ウエルとばた二階の交流プラザやイベント広場では、活動紹介や活動支援バザー。また、ミニステージや福祉車両・福祉疑似体験、スタンプリーなどの催しがありました。

パネル展示コーナーでは福祉有償運送のブースがあり、福祉有償運送への理解を求め、パネルの展示や市内の実施団体のチラシなどが展示してありました。ボランティア

募集しています

「さわやか」もパネル展示コーナーにパネルの展示とボランティア募集のチラシを置かせてもらい、ボランティアさんの募集を呼びかけました。

## 事務局より年末年始のお知らせ

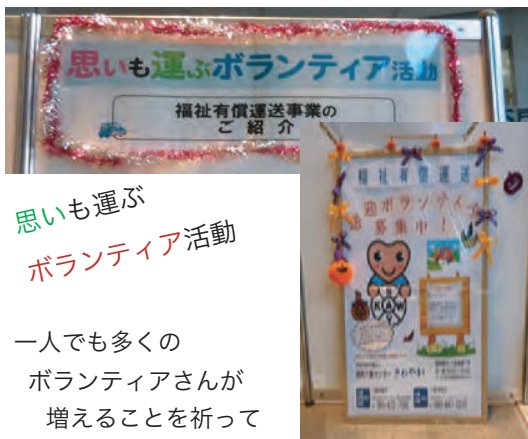
12月29日（金）から

1月8日（月・祝日）まで

事務局はお休みします

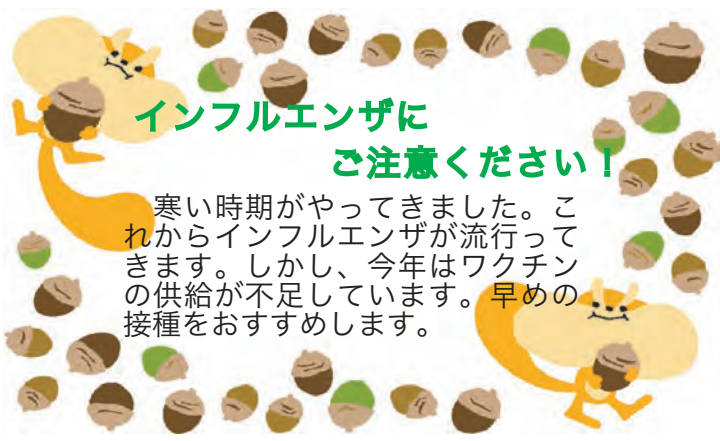
ボランティアさん及び利用者の方には

個別にお知らせいたします



### 思いも運ぶボランティア活動

一人でも多くのボランティアさんが増えることを祈って



## インフルエンザにご注意ください！

この時期がやっつきまわります。インフルエンザの予防接種を受けましょう。

# 透析患者の社会復帰

明るい未来がきつと見つかる

透析者のための職場探し

あなたの働きたい思いを応援します



今回は、首都圏で透析患者の就業サポートをスタートされた腎臓病・透析患者向けポータルサイト『じんラボ』と提携し、就業困難者の就業問題解決に力を入れていらっしゃる人材紹介会社『IHFヒューマンリソース株式会社』のキャリアメンター 株式会社『IHFヒューマンリソース株式会社』のキャリアメンターである梶原健太郎さんに首都圏での透析患者就業の現状を投稿していただきました。

二〇一七年二月から本格的に始動した『透析者に特化した就業支援』事業ですが、お陰さまで、これまでたくさんの方にご登録いただき、その中から七名ほどの透析患者の方の就職をお手伝いさせていただけました。透析患者の就業に関して

企業の姿勢が変わっている。最近の透析患者の就業に関して、少しずつ企業の姿勢が変わってきている傾向にあります。

これまで、透析患者は、一般的に言われる『障害者』という枠の中で見られてきました。

ところが、最近では『障害者』というかなり大きな枠組みの中から、それぞれ持つ障害をより細かい部



IHFヒューマンリソース株式会社  
キャリアメンター  
梶原 健太郎 氏

分で見えていく企業が増えてきました。

そのような傾向の中で、透析患者は時間的拘束さえクリアになれば健常者に近い能力を発揮できる『障害者』であるということが、認知されてきたのです。

また企業は組織ですから、チームワークを重視することが多く、できれば健常者に近い障害者を雇用したいというのが本音です。

そこで、透析患者に白羽の矢が立つことが多くなっ

## 透析したら人生を楽しめないって誰が決めたの？

腎臓病・透析に関わるすべての人の幸せのためのじんラボ

現在首都圏では、腎臓病・透析患者向けポータルサイト『じんラボ』のご協力のもと、腎臓病や透析に関する幅広い知識や情報を探さされている患者さんたちに、就業支援という側面から情報提供をさせてもらっています。

『じんラボ』では、腎臓病との向き合い方から、日々

てきたというわけです。しかし、透析患者の雇用に関して『何に気を付けたらよいのか？』、『どのような接すればいいのか？』という質問を受けることがまだまだあります。

透析患者が就職しやすい

環境作り

これからも企業への啓蒙活動を続け、紹介企業を増やし、より透析患者が就職しやすい環境を作っていくかなければなりません。

これまでお手伝いをさせていたただきながら見えてきた傾向は、仕事を真摯に探す姿勢がみられる方が、内定をいただく確率が非常に高いということです。

そしてもう一つの要素は

## 誰が決めたの？

のちよつとした病気や生活に関する疑問まで様々な情報がありま



係者の方は目にしたほうがいいWEBサイトだと思います。(リーフレット参照)

タイミングです。



本気で仕事を探そうという真摯な姿勢で、タイミングを逃さず、行動の早い方がどんどんと仕事が決まっています。

ご自身の都合ばかりを優先される方や、必要な書類の準備がなかなかできない方等は残念ながら仕事が決まりません。

これは透析患者だからということではなく、就職活動においては全て同じだと思います。

キャリアメンターである私自身が透析患者ですから、透析患者の状況はどの人材紹介会社の方よりも分かっています。

もし、求職されている方にとって就職や転職が最適でない判断したら、率直にそのようなアドバイスをさせていただきます。

一人でも多くの透析患者がいきいきと仕事をし、企業からも高く評価され、ひいては透析患者の社会的地位向上が私の使命であると

考えています。

仕事とは社会との接点が

非常に重要

仕事というのは、もちろん生きていくための生業としての側面もありますが、やはり社会との接点という面が非常に重要であると考えています。

社会との接点を持たずに、生きていくこともできませんが、日々の生活におけるメリハリ、自分の仕事が少ないでも社会の役に立っているという達成感や充実感を感じながら生きていくのと、そうでないのとはその方の生き方が大きく変わってくると思います。

仕事充実しているということが、透析生活のクオリティーの向上の大きな要素の一つであると言えると思います。

## ご登録ください！

もし今、お仕事を探したいと思ったり、転職をしようか悩んでいらっしゃるのなら、タイミングも重要な要素ですので、1日でも早くIHFヒューマンリソースへご登録(無料)ください。現在は関東1都3県、大阪、名古屋を中心にご紹介しております。その他の地域の方もご相談ください。企業の紹介はもちろん、本当に就職・転職すべきなのかも含めてじっくりお話をお聞きしたいと思います。